

高潮予報区間に係る気象警報・注意報（R06）_解説資料の補足（2026/2/13版）

高潮警報・注意報に係る気象警報・注意報（R06）形式電文について、3者共同予報となる高潮予報区間の運用時に関して、解説資料を本資料により補足する。

○解説資料の項番別補足

1 - 5 PublishingOffice

3者共同予報となることから xs:list 型（空白区切り）により国土交通省の機関、都道府県、気象庁の機関それぞれの官署名を列挙する。

2 - 8 - 2 Information 部

type 属性値“気象警報・注意報（高潮予報区間）”となる Information 部が追加される。

2 - 8 - 2 - 1 - 1 - 1 Kind 部、2 - 8 - 2 - 4 - 1 - 1 Kind 部 及び 2 - 8 - 2 - 5 - 1 - 1 Kind 部

レベル5高潮特別警報となる状況下において、特に高潮の氾濫発生が確認又はそれに準ずる状況であると判断した（以下「氾濫発生状況」という。）場合、Condition 要素として要素値”氾濫発生”を追加する。

（市町村等）

3 - 2 - 4 - 1 - 1 - 5 - 1 Type

Type 要素値として以下を取りうる。

”高潮危険度” 高潮警報・注意報の発表及び解除の際に必須で、危険度（SignificancePart）、基準到達に関する諸要素（CriteriaPeriod）を必ず含む

”高潮基準超過” 高潮警報・注意報の発表に際してその予測値が危険警報基準値を超過する際にその値と時刻を表記する

”高潮ピーク” 高潮警報・注意報の発表に際してそのピークの予測値の提供ができる場合にその値と時刻を表記する

各気象要素値で値なし（condition 属性値が”値なし”）となる場合がある。

なお、上記については、高潮予報区間のみならず高潮予報区間以外の全域又は地域を分けた場合でも同じである。

3 - 2 - 4 - 1 - 1 - 5 - 2 SignificancePart 部

高潮予報区間を対象とした危険度を示す場合、同高潮予報区間が市町村等の全域であっても、必ず地域名（Local/AreaName）を付加する。また、当該高潮予報区間が氾濫発生状況の場合には、特記事項（Attention/Note）で”氾濫発生”を記載する。同一の高潮予報区間内

では市町村等にかかわらず全て同じ危険度となる。

3 - 2 - 4 - 1 - 1 - 5 - 3 CriteriaPeriod 部

高潮予報区間を対象とした基準到達に関する諸要素を示す場合、同高潮予報区間が市町村等の全域であっても、必ず地域名 (Local/AreaName) を付加する。また、期間の長さ (Duration) は、氾濫発生状況等の場合を中心に省略される場合がある。同一の高潮予報区間内では市町村等にかかわらず全て同じ基準到達に関する諸要素となる。

3 - 2 - 4 - 1 - 1 - 5 - 7 WaveHeightPart 部

うちあげ高を要因として高潮警報・注意報を発表する際 (うちあげ高が基準を超過) で、高潮予報区間を対象としたうちあげ高水位を示す場合、同高潮予報区間が市町村等の全域であっても、必ず地域名 (Local/AreaName) を付加する。

提供するうちあげ高水位値は、潮位と波によるうちあげ高を加えた標高値となる。

以下の場合に予測値を提供しない (condition 属性値”値なし”による) ことがある。

- ・うちあげ高の算出手法及び基準が越波流量の場合
- ・量予想が適切にできない又は提供できない場合

同一の高潮予報区間内では市町村等にかかわらず全て同じうちあげ高水位値となる。

3 - 2 - 4 - 1 - 1 - 5 - 10 TidalLevelPart 部

潮位を要因として高潮警報・注意報を発表する際 (潮位が基準を超過) で、高潮予報区間を対象とした潮位を示す場合、同高潮予報区間が市町村等の全域であっても、必ず地域名 (Local/AreaName) を付加する。

以下の場合に予測値を提供しない (condition 属性値”値なし”による) ことがある。

- ・内陸の市町村等細分区内に潮位による基準を持たない場合
- ・量予想が適切にできない又は提供できない場合

同一の高潮予報区間内では市町村等にかかわらず全て同じ危険度となる。

(高潮予報区間)

3 - 2 - 5 - 1 - 1 - 4 - 1 Type

Type 要素値として以下を取りうる。

”高潮危険度” 高潮警報・注意報の発表及び解除の際に必須で、危険度 (SignificancyPart)、基準到達に関する諸要素 (CriteriaPeriod) を必ず含む

”高潮基準超過” 高潮警報・注意報の発表に際してその予測値が危険警報基準値を超過する際にその値と時刻を表記する

”高潮ピーク” 高潮警報・注意報の発表に際してそのピークの予測値の提供ができる場合にその値と時刻を表記する

”観測” レベル5 高潮特別警報の発表に際して、特に伝えるべき観測情報がある場合に本要素値をもつ Property 部を表記し、潮位 (TidalLevelPart)、事象 (EventPart) のいずれか又は両方を含む。この場合の気象要素値で後述の値なしとなることはない。

各気象要素値で値なし (condition 属性値が”値なし”) となる場合がある。

3 - 2 - 5 - 1 - 1 - 4 - 2 SignificancyPart 部

当該高潮予報区間に係る水位基準地点に対し、必ず地域名 (Local/AreaName) を当該水位基準地点名として付加する。係る当該水位基準地点に対して氾濫発生状況の場合には、特記事項 (Attention/Note) で”氾濫発生”を記載する。

3 - 2 - 5 - 1 - 1 - 4 - 3 CriteriaPeriod 部

当該高潮予報区間に係る水位基準地点に対し、必ず地域名 (Local/AreaName) を当該水位基準地点名として付加する。また、期間の長さ (Duration) は、氾濫発生状況等の場合を中心に省略される場合がある。

3 - 2 - 5 - 1 - 1 - 4 - 4 WaveHeightPart 部

うちあげ高を要因として高潮警報・注意報を発表する際、当該高潮予報区間に係る水位基準地点に対し、必ず地域名 (Local/AreaName) を当該水位基準地点名として付加する。

提供するうちあげ高水位値は、潮位と波によるうちあげ高を加えた標高値となる。

以下の場合に予測値を提供しない (condition 属性値”値なし”による) ことがある。

- ・うちあげ高の算出手法及び基準が越波流量の場合
- ・量予想が適切にできない又は提供できない場合

3 - 2 - 5 - 1 - 1 - 4 - 5 TidalLevelPart 部

(Property 要素下の Type 要素値が”高潮基準超過”又は”高潮ピーク”の場合)

潮位を要因として高潮警報・注意報を発表する際、当該高潮予報区間に係る水位基準地点に対し、必ず地域名 (Local/AreaName) を当該水位基準地点名として付加する。

以下の場合に予測値を提供しない (condition 属性値”値なし”による) ことがある。

- ・量予想が適切にできない又は提供できない場合

(Property 要素下の Type 要素値が”観測”の場合)

当該高潮予報区間に係る潮位観測値を示す場合、必ず地域名 (Local/AreaName) を当該潮位観測所名として付加し、TidalLevel 要素 (type 属性値は”最高潮位”) と Time 要素で観測された最高潮位とその日時を表記する。

3 - 2 - 5 - 1 - 1 - 4 - 6 EventPart 部

当該高潮予報区間に係る氾濫発生に係る事象を示す場合に付加する。必ず地域を示す形式 (Local) を伴い、地域名 (AreaName)、地域の場所 (Location)、事象 (Event) と、これら事象の文章形式 (Sentence) をもつ。地域名は、水位基準地点名を原則とするが任意の地域名となることがある。詳細は氾濫発生状況の確認の項を参照。

3 - 5 OfficeInfo 部

高潮に係る共同発表に際して、担当別の部署・機関を以下の type 属性値により示す。

"水位関係" うちあげ高予測等を担当する国土交通省の部署・機関

"都道府県" 水位の観測や施設・地形の把握等を担当する都道府県の部署・機関

"気象関係" 潮位予測等を担当する気象庁の部署・機関 (気象台)

○うちあげ高の算出方法について

うちあげ高は、台風や発達した低気圧の影響を受けた海水が、海岸に衝突又は遡上することにより到達する高さを示すものであるが、この予測値の計算手法として、海水が到達する高さを水位 (うちあげ高水位) として予測する方法と、堤防等を越えた海水の量を越波流量として予測する方法の2つがある。高潮警報・注意報の電文として、うちあげ高の予測を越波流量により実施する場合は、うちあげ高水位予測値として提供できないことから、これらの気象要素の提供は行わない。

これら算出方法・基準の設定方法等による気象要素等の出現表を以下にまとめる。

高潮予報区間の有無	潮位基準値	注警報電文			時系列電文				
		細分区名 (なし=空白基準) (AreaNameを記載する条件)	危険度 (欄外参照)	潮位 ^{※1} (欄外参照)	うちあげ高水位 ^{※1} (欄外参照)	細分区名 (AreaNameを記載する条件)	危険度 (欄外参照)	潮位 ^{※1} (欄外参照)	うちあげ高水位 ^{※1} (欄外参照)
なし	あり	三次細分区を分割する場合のみ	○	○	×	三次細分区がある場合のみ常時	○	○	×
	なし	三次細分区を分割する場合のみ	○	値なし	×	三次細分区がある場合のみ常時	○	値なし	×
あり(うちあげ高水位基準)	あり	単独でも常時	○	○	○	単独でも常時	○	○	○
	なし	単独でも常時	○	○	○	単独でも常時	○	値なし	値なし
あり(越波流量基準)	あり	単独でも常時	○	○	値なし ^{※2}	単独でも常時	○	○	×
	なし	単独でも常時	○	○	値なし ^{※2}	単独でも常時	○	値なし	×

凡例 ○：要素別Part部あり ×：要素別Part部なし 値なし：要素別Part部ありでcondition属性値="値なし"

※1 高潮警報・注意報の発表要因となっている場合のみ記載。例えば、潮位の欄が○であっても予測値が警報・注意報の基準値に満たない場合は要素別Part部ごと省略する

※2 起時 (高潮基準超過については超過時刻、高潮ピークについてはピーク時刻) が求まる場合はTime要素値にその時刻を入れる

○氾濫発生状況の確認

氾濫発生状況が水防管理者その他により確認された場合、その氾濫発生状況の情報としてEventPart 部で示す場合がある。高潮警報・注意報における氾濫発生状況については、発生時刻 (Time) を付記して以下の事象の名称 (EventName) により事象を示す。

“越流” 潮位が堤防や護岸の天端を越えることにより、背後地が浸水する状況

“越波” 高波の影響で打上がった海水が堤防や護岸を越えることにより、背後地が浸水する状況

“堤防決壊” 堤防や護岸施設の決壊により、背後地が浸水する状況

○高潮予報区間に係る名称及びコード

高潮予報区間に係る名称及びコードは、AreaCoastForecast コード表で管理され、電文上では以下で共通に用いられる

Information[@type="気象警報・注意報（高潮予報区間）"]部 Area 以下の Name・Code

Warning[@type="気象警報・注意報（市町村等）"]部 次の要素下の AreaName

SignificancyPart/Base/Local

CriteriaPeriod/Base/Local

WaveHeightPart/Base/Local

TidalLevelPart/Base/Local

Warning[@type="気象警報・注意報（高潮予報区間）"]部 Area 以下の Name・Code

AdditionalInfo 部 TidalAreaPart 部 Area 以下の Name・Code

○水位基準地点に係る名称及びコード

水位基準地点に係る名称及びコードは、AreaCoastForecast コード表で管理され、電文上では以下で共通に用いられる

Warning[@type="気象警報・注意報（高潮予報区間）"]部 次の要素下の AreaName

SignificancyPart/Base/Local

CriteriaPeriod/Base/Local

WaveHeightPart/Base/Local

TidalLevelPart/Base/Local

(EventPart/Base/Local は対象でないことに留意)

AdditionalInfo 部 HydrometricStationPart 部 Area 以下の Name